

科目名称 (Course Title)				担当教員(Instructor)	
コミュニティビジネス				塩見 直紀	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	3年次	講義	無	科目等履修・聴講
授業の概要 (Course Description)					
<p>この授業は、国内外におけるコミュニティビジネス（社会起業も含）の現状と動向、手法、戦略等を先進例、若手ベンチャー、新しい潮流に学んでいく。地域資源活用、新しい組み合わせ、コンセプトメイク、ブランディング、情報発信等なども重要なキーワードとして、一般の企業経営においても応用可能な内容とし、考え方や方法の理解が深まるように事例紹介も含め講述する。最終日には、自らがコミュニティビジネスをおこなう学生ベンチャーとして、福知山と地元（出身地）での2案、企画し、各自プレゼンする。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティビジネスの現状と課題について基本的な知識を修得する。 ・コミュニティビジネスの経営センス、経営の在り方、戦略等を学ぶ。 ・地域資源（地域資源創出）を活かしたコミュニティビジネスの独自戦略プランを立案できる。 					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	コミュニティビジネス論の概要とめざす方向性について（オリエンテーション）				
第 2 回	コミュニティビジネスとは何か、社会起業（ソーシャルビジネス）とは何か				
第 3 回	コミュニティビジネス事例研究（テーマ：都市）				
第 4 回	コミュニティビジネス事例研究（テーマ：農村）				
第 5 回	コミュニティビジネス事例研究（テーマ：子育て）				
第 6 回	コミュニティビジネス事例研究（テーマ：食）				
第 7 回	コミュニティビジネス事例研究（テーマ：農）				
第 8 回	コミュニティビジネス企画ワークショップ（個別プレゼンテーション準備）				
第 9 回	コミュニティビジネス事例研究（テーマ：貧困）				
第 10 回	コミュニティビジネス事例研究（テーマ：高齢者）				
第 11 回	コミュニティビジネス事例研究（テーマ：こころ、絆）				
第 12 回	コミュニティビジネス事例研究（テーマ：教育）				
第 13 回	コミュニティビジネス事例研究（テーマ：空き家）				
第 14 回	コミュニティビジネス事例研究（テーマ：未来）				
第 15 回	個別プレゼンテーション（学生コミュニティビジネスベンチャー構想）				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティビジネス（社会起業）について、日ごろから問題意識をもつこと。 ・コミュニティビジネスを自分も立ち上げるという気概をもち、関連書を手にするなど、自己学習をおこなうこと。 					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
期末試験 (60%) 毎回の感想・気づき・提案シート (20%) 個別最終プレゼン (20%)	秀：必要なキーワードを過不足なく用いて、論理的に客観的な説明ができ、かつ、課題や独自の解決策を的確に指摘できている 優：キーワードを用いながら論理的に客観的な説明ができ、課題を理解し、解決策を提示できる 良：おおよその説明はできており、かつ、課題を理解している 可：課題の説明において、最低限の水準を満たしている 不可：課題が説明できていない
テキスト (Textbook)	【書名】 【著者】 毎講義のレジюмеの中で、適宜、参考文献を紹介する 【出版社】 【出版年】
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	毎講義のレジюмеの中で、適宜、参考文献を紹介する
備考 (Other Information)	3分の1以上 (6回以上) の欠席は、単位不可とする。※1回目の授業も5回の欠席に含むので注意
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	メール (conceptforx@gmail.com) にて連絡すること。